

NEW CROWN 授業実践事例

BOOK 3 LESSON 6 授業例②

H.T. 先生

指導計画表

(全8時間)

時間	学習内容・主な活動
1	■とびら プレ活動
2	■Get 文法の導入と練習 語句・表現の導入
3	■Get part1 本文の導入・理解
4	■Get part2 本文の導入・理解
5	■USE Read 概要のリスニングと音読練習
6	■USE Read 概要文のリプロダクション
7	■USE Read p70,71 を読んで感想を書く
8	■USE Read キング牧師のスピーチ文を読んで 感想を書く

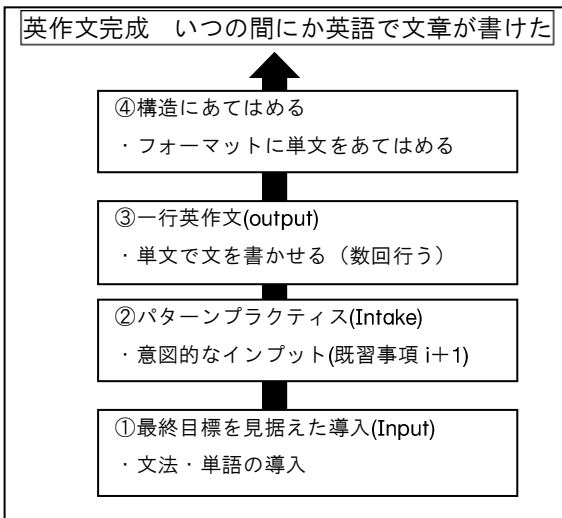
実践例

1. 教科書から世界につながる授業を

教科書の英語を使って生徒と世界をつなげたい。田舎町の小さな学校のその授業が、広い世界への入口となるような授業がしたいという思いで日々実践を行っている。生徒達が自分の考えを出し合い、正解のない答えを互いに絞り出し合って、驚き、感嘆し、時に感動を共有する、そこで出た意見やアイディアはその教室にとどまらず、世界へと発信できるメッセージとなる。それが英語の醍醐味であり、教科指導を越えた大切な学びにつながると考えている。ここで扱う Lesson 6 I Have a Dream はまさに英語を通して子どもたちと一緒に考えていきたい単元である。教科書を通してキング牧師の考えや歴史の重さに触れ、そこに込められたメッセージから感じたことを、自分の意見として世界に発信していく、その一歩につながる授業をめざした。その一端を紹介する。

2. 単元構成の視点

筆者は常々書く活動に力を入れて取り組みを続けてきた。理由は書く活動は生徒にとって、最も苦手意識が強く、難しく、その反面、できると嬉しく、成長を実感しやすい活動であると考えからである。「英作文をする」と聞いただけでペンを置いて固まってしまう生徒に、いかに書く楽しさを伝えられるかを考え、以下のような単元構成を意識して取り組むようになった。



ポイントは「積み上げ式」の英作文活動である。①で目標を設定し（「日本の文化について英作文で紹介する」など）、単語と文法を導入する。②では①で導入した事項の徹底したパターンプラクティスを行う。この時の文は、目標である最終的な活動で生徒に使わせたい表現や単語を使用する（そのまま使える英文を使用する）。③では教科書本文の扱いに合わせて、1文だけの英作文をする。1文だけなので苦手な生徒も②の表現を使って書くことができる。この活動を数回行う。その英文を④で Read の活動の中で文章として組み立てていく。Read の文を例にして、その構成、ディスコースマーカーを参考に自作の英文をあてはめていく。そうすると作り貯めてきた英文が文章となって完成する。単元の中で少しずつ積み上げてきたものが最終的な形となる。「え、もうできたの？」という声が出る。この「積み上げ式」のやり方を本単元でも応用した。

3. Read を読んで感想を

書かせるための手立て

本単元の目標は「キング牧師のスピーチ文を読んで感想を書く」と設定した。導入時に、読んで書くという2つの壁に凍りつく、目標達成のための流れとポイントを説明した。

- ④キング牧師のスピーチ文を読んで感想を書く
- ③Read ローザパークスの話を読んで感想を書く
- ②Get 教科書本文を読んで感想を書く
- ①導入 マララさんの紹介文を読んで感想を書く

④の最終目標達成に向けて、3回感想を書く練習をした。①では世界の人権問題との関連から、60語程度のマララ・ユサフザイさんの紹介文を読んで英作文を書かせた。①②では3文以上を目標とし、③④では40語以上を目標とした。今回も「積み上げ式」の活動を試みたが、今回積み上げていったのは英文（フレーズ）と自分にもできる！という自信である。感想を書く以前にまず読むことを苦手と

する生徒たちのためにも、単元を通してのポイント
を2つに絞って提示した。

- ・「え?」「へー」「すごい!」と思った部分に線
を引く
- ・フレーズを使う

フレーズの例 It is surprising. It is sad. I think
that... She said...など使えそうな表現を提示し
ておく

線を引くよう促すだけで、英文をにらみつけてい
ただけの生徒も少しずつ読みが進むようになる。そ
して、ここで引いた下線部を引用しながら感想を書
くように指示をする。以下の文は1時間目に生徒が
作成した英文である。提示したフレーズと引用部分
を組み合わせている。

引用している部分 フレーズ使用部分

I think she is great. This is because she said
"Every child has to go to school." I agree with
her idea.

2つのポイントによって、苦手意識の強かった生
徒も最初の一步を踏み出すことができたようであ
った。最初の活動で全員が3文という目標を達成で
きるようにしっかり足場を固めてやることで、次の
活動以降も自信を持ってとりくむようになる。この
活動を積み上げていくことで、「できた!」という
自信が付き、同時に英文をたくさん書き貯めていく
ことができる。書いた英文はクラスで交流し、クラ
ス全体で使えるフレーズを貯めていった。日頃より
生徒には習ったことをすぐに使うことを推奨して
いる。生徒達の言葉で言うと「パクる」ことをあ
えて積極的に推奨している。いいな、使えるなと思
ったものはどんどん真似をして、フレーズをパクっ
ていく。教科書やワークシートの文でも友達が書い
た文でもなんでも取り入れて使う姿が見られるよ
うになった。専用のフレーズ集めの用紙も作成したほ
どである。以下の英文は②で生徒が書いた感想であ
る。

I am shocked. This is because some people
were called "colored". And I think that Dr King
was really great because he worked hard to

make all Americans equal and free. He worked
for many people. It is important. So I want to
work for many people too.

生徒の英文の中ので使える表現はシェアできるよ
うに紹介しているので、苦手な生徒は友達の英文を
参考にし、もっと書きたいと思った生徒はそのフレ
ーズにアレンジを加えながらより自分の想いを込
めた文、複雑な文に挑戦するようになっていった。

4. まとめ

「積み上げ式」の良さは、日常の活動や宿題とし
て家で行っているパターンプラクティスや単語練
習が、授業の英作文につながり、さらにその積み重
ねが最終的な目標達成につながる、という実感を持
つことができるところにある。こうすれば感想が書
ける、というやり方さえわかれば、あとは「自分
にもできる」と気づいた瞬間から生徒たちはどんど
ん成長していく。苦手意識の強い生徒達も、最初の数
歩の足場をしっかりと固め、丁寧に手順を確認してや
ることで前に進むことができる、積み上げてきた英
語を使って、どんどん階段を駆け上がっていく生徒
も出てくる。授業の中ではそのきっかけづくりがで
きればと考えている。

「教科書から世界へつながる授業を」という目標
にはまだまだ遠く及ばないが、今回の単元の最後に
以下のような感想を書いた生徒がいた。1時間目
には20語だった語数が109語にまで増えた生徒で
ある。「英語は苦手」と言う彼の中の、人権に対する
想いが授業を重ねるごとに強くなり、それを何とか
表現したいと、熱心に英文を読み込み、友達のフレ
ーズを参考にしながら英文を完成させていく姿が
あった。

I respect him. This is because he kept boycott
during nine years. I think that he is very great. he
said "They should not be judged by the color of
their skin but by the content of their character."
This sentence is very nice. If he didn't make the
speech, the world would not have changed. So he
is really great. He gave black people and me
courage. I think that having a movement is very
important. I want to keep trying hard. I think
people in the world should join hands together.
That is very important. I want to be like him.

最後に、「英語で人権について学ぶことはとても意味のあることだと思う。自由に考えを書ける授業はやっぱり楽しい」という感想を言ってくれた生徒がいた。教科指導を超えた学びの大切さを感じると共に、その前提にある、英語の力をしっかりつける、できるようにさせる授業をめざす事の意義も感じることができた実践となった。